

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2555 号

Recognition and pathological features of periamupullary region adenocarcinoma with an indeterminable origin

傍乳頭領域における原発特定困難腺癌に対する認識と病理学的特徴

小峰 竜二 (こみね りゅうじ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、傍乳頭領域に発生する腺癌の原発が、膵臓か胆管か十二指腸乳頭部か判断のつかない症例に対する現在の存在認識の共有が可能かどうかを明らかにした初めての調査であるとともに、一定の診断過程を経て組織学的に所見のみに依存せず客観的に原発が特定できない症例を集積し、その臨床病理学的特徴を明らかにした初めての論文であり、臨床的に意義がある。アンケートを通して肝胆膵領域の専門病理医の 85.7%が原発を区別できない症例が存在することに同意することがわかった。また原発特定に用いる組織学的所見の重み付けが専門医の間で一致しないことが明らかになり、原発特定困難症例の 70.2%が診断根拠なく膵癌として報告されている現状が明らかになった。一方、特定困難症例の前向き集積から特定困難症例の 95.2%で胆管と主膵管の両長軸方向に腫瘍が進展していることが明らかになるとともに、特定困難症例自体に独自の性質がある可能性が示唆された。本論文の結果から、傍乳頭領域の原発特定困難腺癌症例はそれ自体を膵癌・下部胆管癌・乳頭部癌と別に分類する必要があることが示唆され、かつ原発特定困難と判断するための共通所見が初めて示されたことは臨床的に意義がある。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。